



第160号
平成28年11月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会

●もくじ	
審議された議案と結果……………	P 2
議案質疑……………	P 4
議会の動き……………	P 6
(表紙写真 開町100周年記念式典で未来へのメッセージを述べる児童・生徒)	

●平成二十八年第三回定例会

議会だより



平成28年第3回定例議会

審議された議案と結果

第3回定例会は、9月20日から21日までの2日間の会期で行

われ、冒頭、町長から農作物の生育状況、台風10号による被害状況、アスパラ集荷・選別作業に係る他町村への移動、双葉ダムにおける今後の維持管理、開町百周年記念事業、広域連携の取り組み、泊発電所環境放射線の測定結果、地方創生加速化交付金事業についての7件の行政報告がありました。

議案の審議では、決算特別委員会に付託された平成27年度各会計決算認定を除く、報告3件、承認1件、人事案件2件、条例の制定及び一部改正、一般会計補正予算など議案7件が審議されたほか、意見書2件が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

報告第3号

平成27年度教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき教育委員会の事務管理と執行状況についての点検・評価を議会に報告するものです。

報告済

承認第1号

平成28年度一般会計補正予算（第5回）の専決処分の承認

台風10号により発生した被害の対応に要した重機の借上げ、土砂撤去等に係る費用を、緊急を要するため専決処分したものです。

原案承認

報告第1号

損害賠償の額を定める専決処分の報告

役場駐車場内接触事故に係る損害賠償額の専決処分
損害賠償額 18万7千円

報告済

同意第1号

教育委員会委員の任命同意

中島 栄 子 さん 字喜茂別22番地12
任期 平成28年10月1日から
平成30年9月30日まで

原案同意

報告第2号

平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率

自治体における財政の健全性を表す判断基準として「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」の4つの比率と上下水道事業などの経営状態の悪化度を表す「資金不足比率」を監査委員の意見を付して議会に報告するものです。

報告済

同意第2号

固定資産評価審査委員の選任同意

三野 優 さん 字喜茂別417番地
任期 平成28年10月1日から
平成31年9月30日まで

原案同意

議案第1号

開町百年記念喜茂別町防災基本条例の制定

町民の生命や財産を守るために、地域において災害の経験や教訓を次世代に継承し、町民が安心・安全に暮らせることができるよう、災害に強いまちの実現を目指す為、新規に条例を制定するものです。

原案可決

議案第2号

喜茂別町公園条例の一部改正

喜茂別町公園条例に100年記念公園を加える条例の改正を行うものです。

原案可決

議案第3号

町税条例等の一部改正

所得税法等の一部改正に伴い、本条例の改正を行うものです。

原案可決

議案第4号

国民健康保険税条例の一部改正

所得税法等の一部改正に伴い、本条例の改正を行うものです。

原案可決

議案第5号

平成28年度一般会計補正予算（第6回）

ふるさと応援寄付金報償費等3千6百7万2千円、積立金6千3百16万8千円、社会保障・税番号制度システム整備業務委託料百89万円、地方公共団体情報システム機構負担金等百83万円、民間賃貸住宅建設促進事業補助金3百30万円、喜茂別町開町100周年記念事業委員会補助金百6万円、年金生活者支援等臨時福祉給付金等5百83万6千円等の増額と事業確定による不用額等の減額

意見書第2号

農業・農村を崩壊させかねない農業改革とTPPの拙速な国会承認の反対を求める意見書

提出者 松橋 正樹議員
賛成者 越後 耕司議員 館内 榮議員

原案可決

議案第7号

平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）

浄化槽整備事業費等1千9百48万9千円の増額と事業費確定等による不用額4百70万1千円の減額により、予算総額は1億6千61万円となります。

原案可決

意見書第1号

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 越後 耕司議員
賛成者 館内 榮議員 堀 浩和議員

原案可決

議案の審議要目

議案第1号

開町百年記念喜茂別町防災基本
条例の制定

菊地議員

近年、我が国は、地震や台風
など、未曾有の災害に見舞われ、
膨大な被害を受けている。

こうした状況下において、今
回、本町が開町百年という節目
の年に、町民が災害から受ける
被害を最小限に留めるための対
策として重要な指針となる、防
災基本条例を制定することは、
大変意義のある事だと私は思っ
ている。

本条例の内容は、災害時に町
民が受ける被害を最小限に留め
るための対策が網羅されている
と理解をしている。

ただ、本条例に規定している
事を防災訓練や町民懇談会、広
報等により、1人でも多くの町
民が深く理解をし、災害時に確
実に行動を起していくことが、

今後の大きな課題であると思っ
ている。

そこで、本条例の目的や基本
理念を活かしていくためには、
従来から取り組んでいる防災訓
練等の充実、本条例内容の町民
への周知徹底、町民の日常にお
ける生活実態の把握等が必要に
なってくると思うが、本条例制
定後の防災対策について、今一
度、町長の考えを伺いたい。

菅原町長

町民の皆様方がこの防災条例
をどのように理解していただい
ていかは、今後、どのように知ら
せていくか、どのように整理を
していくのか、細かいところま
で、我々自体も、理解をしてい
くのかは、至難の業かなと思う
が、事あるときに少しでも役立
てるようなことを専門にやって
いかなければならないと思っ
ている。

町の施設を使って避難をす
る、あるいは何らかの対応が必
要と考えられるので、町の持つ
ている施設管理というものを、
今一度考え直していかなければ
ならないなと思っている。

館内議員

ハザードマップを見ると、各
地区の避難所や集会所が川淵に
多いと思うのだが、今後、別の場
所に移動する計画はあるのか。

菅原町長

全国各地区の、台風被害に
遭った場所の状況を見ると、安
全だと思つて公共施設を整備し
た箇所、大きな被害に遭つて
いる現状が見受けられる。

施設自体が使えなくなってい
るという状況も充分承知してい
るつもりであるが、早い段階で
避難準備の指示を出すことで対
応を考えている。

改めて、避難所等を建てるこ
とは、今のところ考えてはいな
いが、最大限出来ることを進め
ていきたい。

戸井議員

本町は、過去に水害で橋が流
されるなど、様々な経験をして
いる。

緑町から留産に行く山あいの
道路は、災害発生時において、
道路が寸断されるなど、危険が
あると感じている。

道内外の災害時において、自
治体の対応は、相当難しくなる
と思う。

防災を住民に周知していく上
において、ある程度踏み込んだ
高いレベルの判断と住民に協力
してもらうという形の中で、進
めていく必要があるのではない
かと思う。

そういうことも充分考えた対
応をすべきでないか。

菅原町長

災害は想定外なので、なか
か人知の及ぶところではないと
は思うが、被害は、最小限に食
い止める必要がある。

この防災条例は、そういう点
で、自助・共助・公助を、明記
している。

自分の身は自分で守ってい
ただく、あるいは隣近所にも力を
合わせてやっていこうというこ
とで、それを60名ぐらいで構成
する行政の者たちがすべてに関
わるというわけにはいかなくな
る。いずれにしても、早めに警
告を出していく事や、情報を流
していく事は、非常に大事なこ
とだと思っている。

更には、高齢者が在宅介護を
必要とする状況の中で、今まで
とは全く違う対応を取ってい
なければならぬと考えている。

条例を実行するためには、我
が町の行政そのものも各所で考
え直していかなければならない
と思っている。災害に待ったは
ないが、出来るだけ早い段階で
それらをまとめて、町民に周知
できるようにしていきたいと
思っている。

この条例が出来たということ
を、町民に出来るだけ早い段階
で知らせられるよう、マップの
見直しや町民の皆様方が理解で
きるような指針作りも急ぎたい
と思っている。



開町100周年記念富士山作品展

ただ、そこは高度な技術が必
要であるが、どういう基準で
やっていったらいいか、なお、
検討を要することではないかと
思っている。

この条例を、皆さんにも理
解していただくことともに、
我々も今一度見直して、この防
災や減災を真剣に考えていき
たいと思っている。

議案第5号

平成28年度一般会計補正予算
(第6回)

堀議員

図書室の移設の時期、また旧
図書室の利用方法は決まってい
るのか。

河田教育次長

予定としては、年内には移設
したいと考えている。
今ある図書室は、解体する予
定となっている。

議案第7号

平成28年度公共下水道事業特別

本町だけでなく、広域的にど
う対応出来るかを踏まえて検討
し、早く答えは出したいと思っ
ている。

防災絡みの来年度予算につい
ては、積極的に計上していきたい
と考えている。

菊地議員

数多く起きている災害のテレ
ビ報道の中で感じたのは、消
防はきちんとした消防のユニ
フォームを着ているので、消防
職員であるということが一目瞭
然である。

役場職員も、住民が見て役場
職員だということがわかる、蛍
光塗料を使用した衣類を次年度
の予算の中で、検討してほしい。

菅原町長

住民の皆様方から、誰が役場
の職員なのか分からないという
話も随分聞いている。

来年度予算の中で、何らかの
形で、役場の職員としてわかる
物を作成するということを念頭
に、予算編成をしたいと考えて
おり、是非、検討して実現させ
たいと思っている。

会計補正予算(第2回)

戸井議員

合併浄化槽事業の当初予算は
3千2百万だったが、増額が千
9百万になっている。

増額ということは、浄化槽の
数が増えたとも考えられるが、
最終的に浄化槽は何個になっ
たのか。

伊藤建設課長

平成28年に新規で整備する数
は16基で、当初から現在も変
わってない。



開町100周年記念祝賀会で万歳三唱

議会の動き

平成28年6月15日～9月14日

6月

15日 第2回定例会

全議員出席

25日 保育所運動会

各議員出席

27日 羊蹄山麓環境衛生組合議

会臨時会

羊蹄山ろく消防組合定例

会

組合議員出席

7月

1日 俱知安厚生病院医師等と

の交流会

正副議長出席

5日 北海道町村議会議員研修

会（札幌市）

各議員出席

6～8日 羊蹄山麓町村議会正

副議長会委員長長道外研修

（富士吉田市ほか）

各常任委員出席

15日 ようてい農協20周年

記念祝賀会

議長出席

22日 第3回臨時会

全議員出席

26日 羊蹄山ろく連合消防演習

各議員出席

29日 戦没者追悼式

各議員出席

30日 愛和の里まつり

各議員出席

8月

3日 札幌市南区との合同交通

安全キャンペーン

各議員出席

5日 川西町議会視察対応

各議員出席

6日 開町百周年記念郷土富士

作品展オープンスレモ

ニー

各議員出席

8日 羊蹄山麓環境衛生組合議

会臨時会

羊蹄山ろく消防組合臨時

会

組合議員出席

10日 新篠津村議会視察対応

議長出席

14～15日 きもべつ夏まつり

各議長出席

24日 後志町村議会議員研修会

（仁木町）

全議員出席

27日 J A ようてい農業祭

議長出席

29日 後志広域連合議会議臨時会

連合議員出席

7日 敬老会

各議員出席

総務常任委員会

各委員出席

8日 ジェトロ羊蹄輸出協議会

議長出席

14日 議会運営委員会

全委員出席



開町100周年記念植樹

編集後記



10月9日、喜茂別町開町百周年記念式典・祝賀会が町内外の方々に祝福される中で執り行われました。

式典では、喜茂別町内、各地区の四季折々の風景を上空から撮影した動画や、町の歴史を写真で振り返る映像を上映した後に、新町章の発表や、町の発展の為に尽力された方々の表彰がありました。

式典の最後には、子どもたちから「未来へのメッセージ」と題しての発表があり、その中で「先人の努力に感謝し、次の世代にきちんとバトンを渡したい。」という言葉は、決して忘れられない大変重みのあるものでした。責任世代の一人として、しっかりと心に刻まれた言葉になりました。

議会としても、開町百周年を御祝するとともに、更なる町の発展に向けて力の限り、未来に向けたまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。

議会広報編集委員長 堀 浩和